

課題名： α 汚染可視化ハンドフットクロスモニタの要素技術開発

代表者：樋口 幹雄

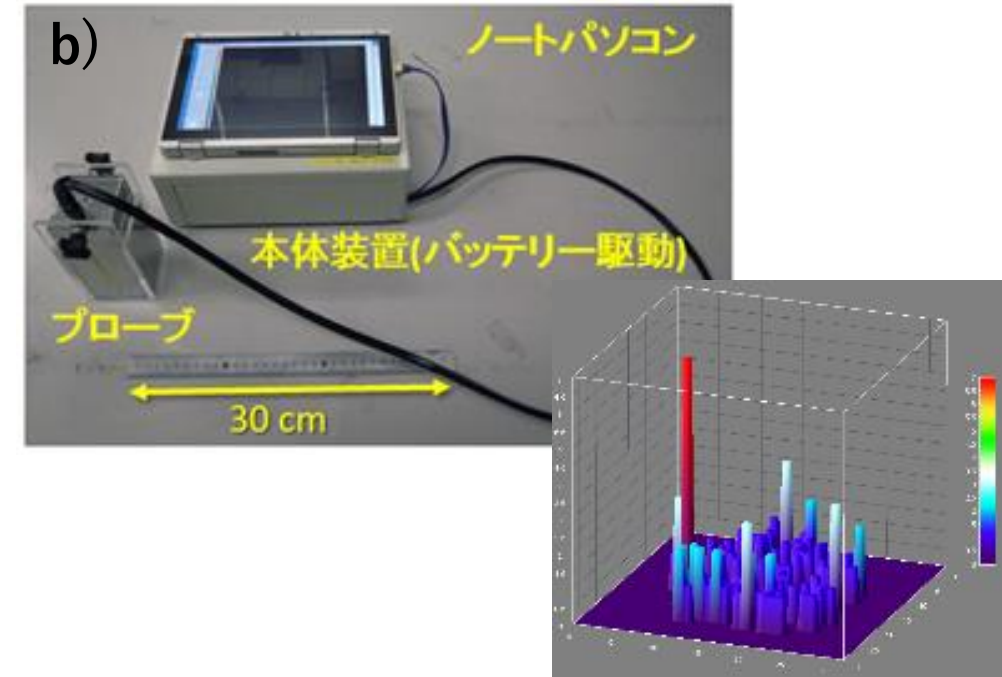
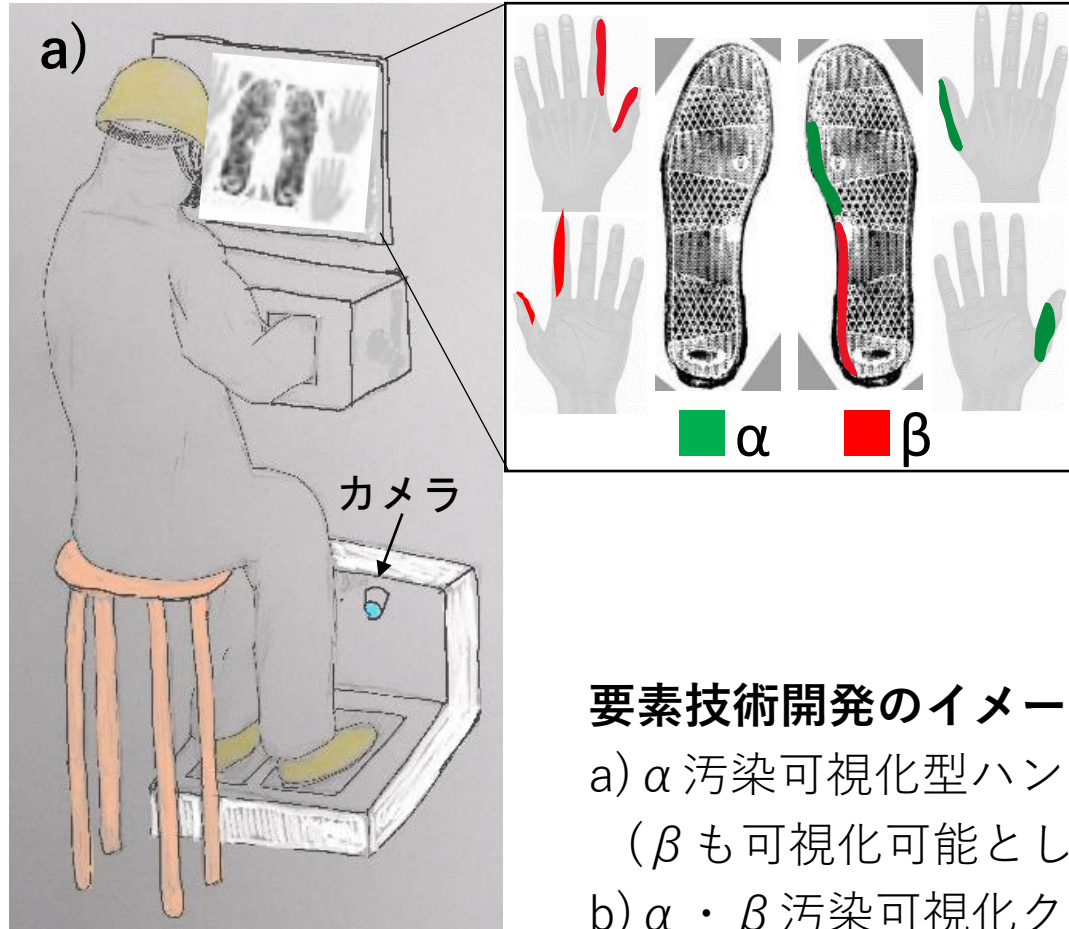
代表機関：北海道大学

再委託機関：産業技術総合研究所、日本原子力研究開発機構

【研究概要】

福島第一原子力発電所において廃炉業務に携わる作業者の汚染箇所・範囲、 α 線、 β 線放出核種の可視化、さらに α 線放出核種の種別判定を可能とする装置の要素技術を開発し、将来的に内部被ばくの有無の判断にかかわる作業を大幅に軽減・迅速化し、作業者の安全・安心確保に貢献することを目的とする。

研究成果の1Fへの実機適用イメージ



要素技術開発のイメージ

a) α 汚染可視化型ハンドフットモニタ
(β も可視化可能とした：挑戦的目標)

b) $\alpha \cdot \beta$ 汚染可視化クロスモニタ
(α 、 β 汚染それぞれの分布、デブリ・ラドン子孫核種の識別可能とする。)